

社会資本総合整備計画(市街地整備)

下福田地区の住宅市街地整備 事後評価書

かながわけんやまとし
神奈川県大和市

令和 2年 3月

計画の名称	下福田地区の住宅市街地整備														
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）				交付対象	大和市									
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 下福田地区周辺の既成市街地において、都市基盤である公共施設の整備改善により、防災性・安全性の向上を図り、緑地機能を保有する良好な営農環境と安心安全な住環境を形成する。 														
事後評価書	<ul style="list-style-type: none"> 良好な住宅地の形成により、人口の定着を図る。 引地川の越流に伴う浸水被害の軽減を図り、安全安心なまちづくりを促進する。 														
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考			
											当初現況値 (H28当初)		中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)	
1. 地区内において新規に住宅等が着工された件数 新規住宅着工件数＝建築物の建築確認申請件数											0件		60件		
2. 護岸より低い面積の割合 低坦地面積割合＝護岸より低い土地面積/地区面積											20.0%		0.0%		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	339.0 百万円	A	339.0 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%			
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期										
策定主体にて実施					令和2年3月										
					公表の方法										
					大和市街づくり計画部街づくり推進課ホームページにて公表										
評価委員会の審議					評価委員会の実施時期										
街づくり推進会議にて審議					令和2年10月9日										
					担当部署										
					大和市街づくり計画部街づくり推進課										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費	備考
									H28	H29	H30	R1	R2		
A-1	都再区画	一般	大和市	間接	大和市中福田土地区画整理組合	大和市中福田土地区画整理事業	区画整理・面積=3.9ha	大和市						339	
合計												339.0			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
														0	
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

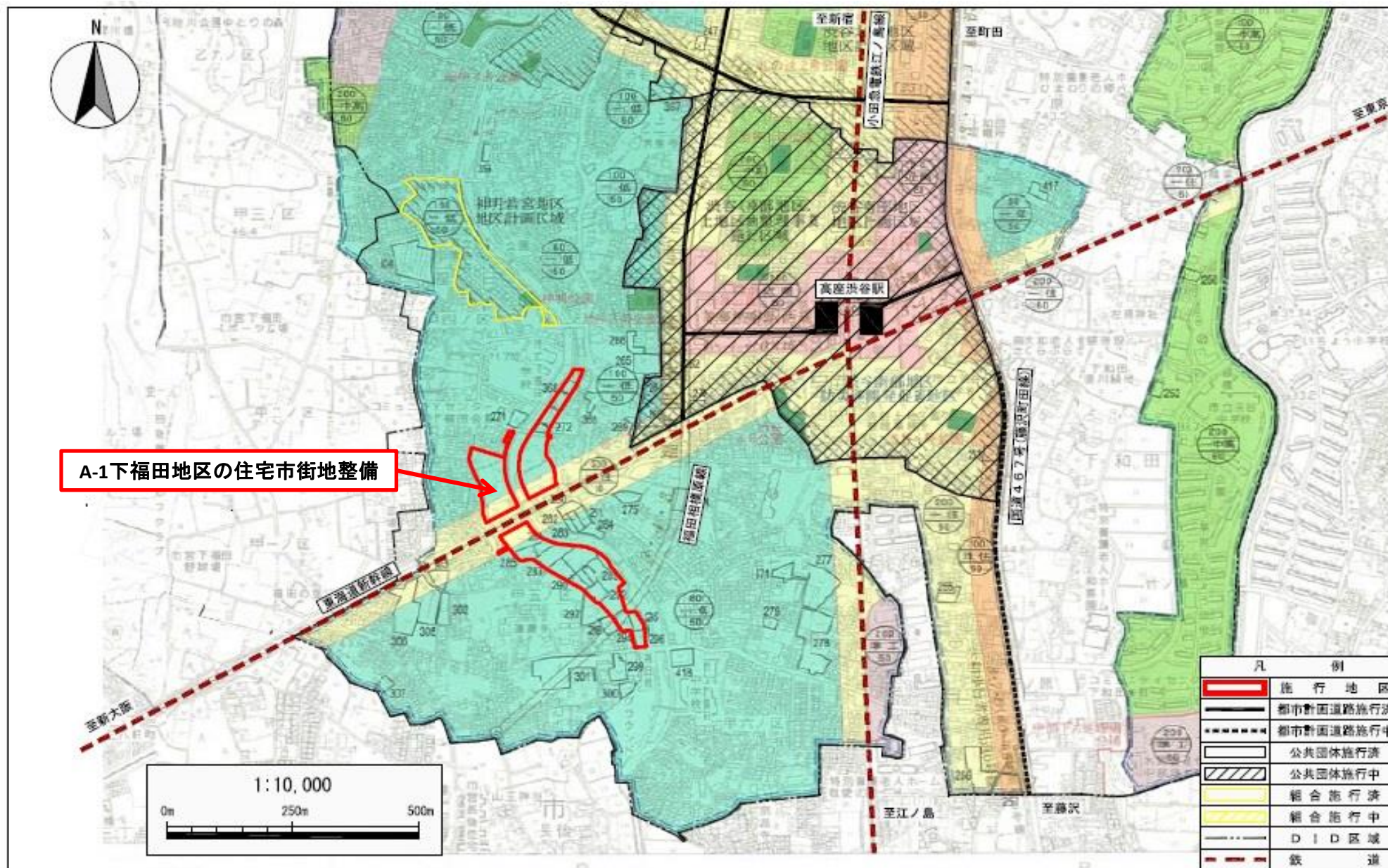
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		土地区画整理事業の実施により、都市基盤である公共施設が整備改善されるとともに、周辺の土地利用を考慮した宅地地盤のかさ上げが図られた。また、市街地農地と生産緑地を再配置し、緑地機能を保有する良好な営農環境が保全され、安心安全な住環境が創設された。									
II 定量的指標の達成状況	指標①(新規住宅着工件数)	最終目標値	60件	目標値と実績値に差が出た要因	着工件数は目標値に届かなかったが、都市基盤である公共施設の整備、宅地地盤のかさ上げ、営農環境の保全等、災害に強く安全安心な住環境が創設されることで、保留地の販売は順調で事業の運営は良好であった。1年間事業の延伸により消費税増税と時期が重なったことで、買い控えが起きたためではないかと分析している。						
		最終実績値	20件								
	指標②(低坦地面積割合)	最終目標値	0%	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業により、宅地地盤が平均1.0mほどかさ上げされ、河川護岸より低い宅地がなくなった。						
		最終実績値	0%								
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
	指標④	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
	指標⑤	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)											

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・新住民に対して、自治会への加入の案内をする必要がある。
- ・宅地地盤がかさあげされたが、引地川沿いに位置することから、避難経路の確認や訓練の実施等、住民主体となったソフト面の浸水対策を講じていく必要がある。
- ・土地区画整理事業によって創出される良好な住環境の維持増進を図り、水と緑と住宅とが調和した街並みを形成するため、宅地内緑化の推進に努める。

(参考図面)

計画の名称	下福田地区の住宅市街地整備	交付対象	神奈川県大和市
計画の期間	平成28年度 ～ 平成29年度 (2年間)		



社会資本整備総合交付金 フォローアップ報告書

下福田地区の住宅市街地整備

令和3年3月

神奈川県大和市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	新規住宅着工件数	件	0	60	20	確定 見込み ●	○	あり ● なし	61	R3年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市基盤である公共施設の整備、宅地地盤のかさ上げにより、新規に住宅が建設された。
指標2	護岸より低い面積の割合	%	20	0	0	確定 ● 見込み	○	あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理により、宅地地盤が平均1.0mかさ上げされ、河川護岸より低い宅地がなくなった。
指標3						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	新住民に対して、自治会への加入の案内をする必要がある。	ホームページによる自治会の案内	自治会の周知ができた	引き続き、自治会への加入を促す
	宅地地盤がかさあげされたが、引地川沿いに位置することから、避難経路の確認や訓練の実施等、住民主体となったソフト面の浸水対策を講じていく必要がある。	なし	なし	住民が主体となった組織づくりの誘導
	土地区画整理事業によって創出される良好な住環境の維持増進を図り、水と緑と住宅とが調和した街並みを形成するため、宅地内緑化の推進に努める。	パンフレットやホームページによる地区計画の意識啓発	地区整備計画に沿った住宅の計画	引き続き、地区計画の意識啓発を図る
改善策				
・まちづくりの目標を達成するための改善策				
・残された課題・新たな課題への対応策				
・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項